

ジェイアールバス東北本部

第29号

2023年5月31日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申6号「2023年度夏季手当等に関する申し入れ」について趣旨説明を行う！

ジェイアールバス東北本部は2023年5月31日、申6号「2023年度夏季手当等に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

組合員

- ・2022年度決算は、災害起因による列車代行輸送や、組合員・社員が経費削減及び構造改革といった各種施策を実行してきたことで、2018年度以来4期ぶりの単年度黒字につながった。
- ・深刻な要員不足が続く状況において、全組合員・社員が買い上げ等による休日労働や助勤に一致協力し奮闘し、黒字化に貢献してきた。
- ・組合員・社員の生活は、2023春闘において2,500円のベースアップが実施されたものの、歴史的な物価高によって苦しい生活が続いており、実質賃金は大きく目減りしている。
- ・コロナ禍によって賃金が減額されてきたことで労働意欲や魅力を感じなくなり人材流出が止まらなかったため、今まさに職場で奮闘する組合員・社員の負担は増している。
- ・4期ぶりの単年度黒字となったことにより、要員不足や会社施策に対して勤務協力などで奮闘している組合員・社員からは、夏季手当については大いに期待しているという声が多い。
- ・今在籍している組合員・社員への「人への投資」を実施して人材流出を防ぎ、モチベーションの維持向上と安全・安定輸送及びサービス品質の向上につなげ、「2期連続の黒字」という目標を達成するためにも満額回答を求める。

会社

- ・コロナ禍での安全安定輸送、要員事情が厳しい中でも列車代行輸送や繁忙期輸送を担っていただいたことに大変感謝している。ゴールデンウィークは効率的かつ収益を意識した輸送で無事目標を達成できたのは皆さんの協力があったからである。サービスの向上にも貢献していただいた。
- ・災害による列車代行輸送では、ダイヤ改正や持ち替えに対応しながら大きな事故や混乱も無く、地域の足を守ることができたことに感謝申し上げる。
- ・2022年度の営業利益は、補助金や列車代行の営業収入が大きく、2022年度の最大の目標である4期ぶりの単年度黒字を達成できたことに厚く御礼申し上げます。
- ・2023年度に入り足元の状況は、コロナ禍前と比較して輸送量と輸送力は7割程度、特に高速バスの中長距離路線は5割程度で厳しい状況に変わりはなく不安要素である。そうは言いながらも、お客さまの客足・インバウンド需要も回復の兆しが見えているので、チャンスを逃さず収入を上げていく。
- ・世間の物価上昇が6%を超え、電気料金の値上げでご家庭も大変苦しい状況であることであることは理解しているが、会社も経費が増え苦しいのは同じであり、特に電気料金の負担が大きい。
- ・夏季手当については、直近の業績を見つつ、持続的に会社を発展していくことを前提に総合的に勘案して議論している。社員への還元や職場の環境改善、労働条件の向上と働きがいの向上、家族の幸福の実現が会社の発展につながり、魅力ある会社となっていく。2023年度新賃金でも最大限の支給をしてきたので、夏季手当も最大限の努力をする考えである。これから議論していくところである。

人材流失を防ぎ、魅力ある職場をつくり出すためには満額回答を！！